

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	①	保育・教育環境の充実

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) * 計画にない新規H22(2)・H23(2)・H26(1)

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
意見発表等の 機会の充実	○「子どもの主張大会」の実施及び特集号の発行	学校教育	H22～26	H25年12月1日(日)田辺中央公民館で実施。 作品応募総数967名。参加者数約250名	H26年12月7日(日)中央公民館で実施 作品応募総数1338名。参加者約250名
		社会教育・スポーツ推進			
		子育て支援			
☆16 ☆17 保育・教育内容や活動施設の充実(☆)	○保育内容の充実(保育所)	子育て支援	H22～26	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った
	○家庭支援推進保育事業(☆)	子育て支援		公立4保育所に 各1名の保育士配置	公立4保育所に 各1名の保育士配置
	○保育所園庭の芝生化	子育て支援		河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた	河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた
	○保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善(☆)	子育て支援		田辺東幼稚園内に河原保育所分園を開設 三山木保育所移転用地買収を行い、建築工事に着手した。	三山木保育所移転新築事業の完了
				○小学校 全小学校(三山木小学校を除く)に空調設備を設置するための設計を行った。 小学校空調設備設置工事に着手した。 三山木小学校増築事業に伴う造成工事を施工した。 ○中学校 田辺中学校既設管理棟耐震補強工事、大規模改修工事を施工(最終年度)し完成させた。	○小学校 全小学校(三山木小学校を除く)に空調設備を設置した。 三山木小学校の新築西校舎棟・体育倉庫の建築工事に着工。
	○図書館活動の充実 ・図書の実 ・点字図書作成 ・手作りの本講習会等 ・移動図書館 ・障がいのある人への対面朗読等 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		視覚障害者向け郵送サービスの開始	図書資料の受入冊数 16,245冊 点字資料作成 36タイトル 子どもの本の講座 参加人数延べ84人 障害のある人へのサービス 宅配80回 郵送サービス3回 対面朗読 47回 児童書・絵本の読み聞かせ推奨のための「絵本の紹介コーナー」の設置
	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進		家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月13日参加者20人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者451人	地域子育てセミナー(全9小学校)9事業 参加者796人
○特色ある園づくり(幼稚園)	学校教育	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キ・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キ・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。		

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助) (再掲3-(1)-⑤、3-(1)-⑥)	学校教育	H22～26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校560千円、中学校303千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者26人	子ども・学校応援プロジェクト「教育実践モデル校」指定事業12校すべてをモデル校に指定し、研究を開始した。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者21人。 講師等謝金 中学校643千円、小学校339千円
	○進路指導の充実 ・職場体験学習	学校教育		各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校3年生を対象に全員が体験学習を行った。
国際化・情報化等の社会の変化に対応する教育の推進	○国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H22～26	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。 また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。 また、小学校(5・6年生)にAET2名を配置し、外国語活動を行った。
	○情報教育の充実① ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育		小・中学校では、コンピュータ室を整備し、合わせて約400台を設置している。また、平成22年の国のICT環境整備事業により、89台の大型テレビを幼小中に導入し、平成23年度の市の予算で小・中学校に合わせて57台の大型テレビを導入した。また、平成22、23年度の市の予算で小中学校にデジタル教科書を整備し、大型テレビやコンピュータ等のICT教材を活用した授業を行い、平成24年度は小・中学校全普通教室に配備できるよう大型テレビを追加導入し、児童生徒の学力向上に寄与している。 さらに、校務用パソコンを教職員に100%貸与して、校務の情報化を進め、円滑に事務処理を行っている。	小・中学校の全普通教室に大型モニターを設置すると共に、指導者用デジタル教科書を導入し各授業で活用している。又、小学校には5台中学校には2台の実物提示装置を配備すると共に、年度末には55台の電子黒板を導入、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の向上に取り組んでいる。 さらに、校務用パソコンを教職員に100%貸与すると共に校務支援システムを共同開発し、校務の情報化、平準化を進め、円滑に事務処理を行っている。
	○情報教育の充実② ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	学校教育		情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができる。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。 夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。	ICT支援員(各校5回)・情報教育コーディネータ(2週で3回程度)の派遣により、貸与パソコンだけでなく他のICT機器の授業への活用等増加している。また、校務支援システムの導入により校務事務の平準化、効率化が図られている。 夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	②	子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成(区域担当委員、主任児童委員への活動費の助成)	社会福祉	H22~26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
	○民生児童委員・主任児童委員による相談(再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	社会福祉		地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
児童福祉施設等における相談の実施	○保育所における相談事業(再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援	H22~26	年間860人から相談を受けた	年間793人から相談を受けた
	○児童館における相談事業(再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	子育て支援		保護者からの相談件数 124件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 88件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談事業(来庁、電話、メール)(再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 139件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 95件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 154件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 107件 保健・障がい・非行・育成等相談 40件 来庁面接相談回数:183回(延べ290人) 家庭訪問回数:117回(延べ285人) 電話相談回数:351回(延べ604人) メール相談回数:22回(延べ5人)
	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業(再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		支援センター等での子育て相談 電話65 来所305 事業内実施時323	支援センター等での子育て相談 電話60 来所7 事業内実施時431
	○相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たっての関係部署等との連携強化等	子育て支援		相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、留守家庭児童会指導員、ファミリーサポートセンター、民生児童委員の研修会への参加。 要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。	相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、留守家庭児童会指導員、ファミリーサポートセンター、民生児童委員の研修会への参加。 要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。
	○10か月児発達相談(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 対象児:601 受診者:569 受診率:94.7%	年12回 対象児:573人 受診者:546人 受診率:95.3%
	○2歳児発達相談(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 対象児:681人 受診者:591人 受診率:86.8%	年12回 対象児:649人 受診者:557人 受診率:85.8%

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		年12回 乳幼児 1,024人 妊婦0人	年12回 乳幼児 1,053人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(2)-②、2-(3)-②)	子育て支援		実132人(のべ168人)幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実人142(のべ167人)幼稚園1園 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 110人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子育て支援		転入者342人中 315人回収(92.1%)	転入者304人中287人回収(94.4%)
学校等における相談体制の充実	○幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	学校教育	H22~26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数98回(11回×8校+10回×1校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数101回(11回×7校+12回×2校)、相談件数431件 相談人数(内訳) 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	③	不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
子どもへの相談支援(カウンセラー等専門家の支援)(☆)	○児童館における相談事業 (指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け) (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援	H22~26	保護者からの相談件数 124件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 88件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 139件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 95件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 154件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 107件 保健・障がい・非行・育成等相談 40件 来庁面接相談回数:183回(延べ290人) 家庭訪問回数:117回(延べ285人) 電話相談回数:351回(延べ604人) メール相談回数:22回(延べ5人)
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数98回(11回×8校+10回×1校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数101回(11回×7校+12回×2校)、相談件数431件 相談人数(内訳) 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆) 臨床心理士等専門家による学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化 (再掲2-(3)-②)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数98回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数101回、相談件数431件 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-⑥、2-(3)-②)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数339人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数203日、通室延人数432人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	④	子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
教育活動の充実	○職員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小・中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	子育て支援	H22～26	年間、延べ254人が受研した	年間、延べ272人が受研した
		学校教育		初任者については、年1回の研究授業及び年1回の研修講座を実施し、2校目研修として年1回実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。幼稚園の全教員を対象に年4回研修会と年3回公開保育研修を実施し、資質、指導力の向上に努めた。	初任者については、年1回の研究授業及び年1回の研修講座を実施し、2校目研修として年1回実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。幼稚園の全教員を対象に年4回研修会と公開保育研修を実施し、資質、指導力の向上に努めた。特に今年度は公開保育の持ち方を工夫し、年齢別の公開保育の充実を図った。
	学校教育	○指導体制の充実とそための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導		小学校1年生に学級運営支援員を配置した(田辺・草内・三山木・薪・桃園小)。	府の1年生補助教員の配置のない学校にも、学級の状況に応じ、学級運営支援員を5名配置した(草内・三山木・薪小)。
幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	○児童、保護者、教職員の交流の推進 ・運動会への招待 ・児童の交流	学校教育	H22～26	各小学校で次年度入学予定園児を運動会へ招待し交流を図った。「もうすぐ1年生」事業に全小学校で取り組み、交流給食や合同の文化鑑賞会、栽培活動等を実施した。	幼小連携年間計画の作成とそれによる計画的な行事交流の実施幼小接続プログラムの研究「もうすぐ1年生」事業の推進を図った。
小・中学校の連携強化	○小・中学校の連携強化 ・小・中学校合同研修(授業参観、授業の指導方法の研究等)	学校教育	H22～26	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年
社会体育活動に係る情報提供	○広報紙・ホームページ等による情報提供	社会教育・スポーツ推進	H22～26	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、市、市教育委員会ホームページで情報提供を行った	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、市、市教育委員会ホームページで情報提供を行った
各種スポーツ教室・大会等の実施	○市民総合体育大会等 ・市民総合体育大会 ・市民マラソン大会等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市民総合体育大会 18種 2,804人 市少年交流大会 600人 市マラソン大会 531人 市陸上競技大会 600人 水泳記録会 156人 市民駅伝競走大会 36チーム260人 市小学生ハンドボール大会 46チーム420人 市小学生ハンドボール交流大会 67チーム563人	市民総合体育大会 18種 2,626人 市少年交流大会 200人 市マラソン大会 1,291人 市陸上競技大会 663人 水泳記録会 146人 市民駅伝競走大会 39チーム228人 市小学生ハンドボール大会 42チーム389人 市小学生ハンドボール交流大会 64チーム539人
	○スポーツ教室等 ・少年スポーツ教室 ・各種水泳教室等の開催	社会教育・スポーツ推進		幼児水泳教室 351人 小学生水泳教室 465人 障害児水泳教室 29人 親子体操教室 54組108人 少年スポーツ教室(中央教室・ハンドボール) 67人 少年スポーツ教室(ハンドボール) 246人	幼児水泳教室 346人 小学生水泳教室 470人 障害児水泳教室 30人 親子体操教室 38組78人 少年スポーツ教室(中央教室・ハンドボール) 260人 少年スポーツ教室(ハンドボール) 1,180人
	○健康体力づくり ・京田辺市生涯スポーツフェスティバル等	社会教育・スポーツ推進		市生涯スポーツフェスティバル2013 3,000人 プール無料開放 こどもの日 146人	市生涯スポーツフェスティバル2014 台風のため中止 プール無料開放 こどもの日 259人
スポーツクラブ等の育成	○スポーツクラブ等の育成 ・京たなべ・同志社スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)の育成	社会教育・スポーツ推進	H22～26	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

野外活動センターの運営の充実	○野外活動センター運営の充実 ・わくわく体験クラブ等 ・野外活動に親しむ日	社会教育・スポーツ推進	H22～26	野外活動に親しむ日 150人 夕涼みのつどい 90人 野外活動の集い 450人 わくわく体験クラブ 延べ1,209人	野外活動に親しむ日 250人 夕涼みのつどい 120人 野外活動の集い 500人 わくわく体験クラブ 延べ1,047人
地域組織によるスポーツの推進	○地域スポーツ大会開催等 ・地域リーダー研修会 ・スポーツリーダー研修会 ・水泳指導者研修会	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 延べ3,379人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 154人 水泳指導者研修会 32人	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 延べ2,799人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 128人 水泳指導者研修会 17人
運動公園施設の設備の充実等	○運動公園施設の設備の充実等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	田辺公園プールヒートポンプ及び屋外流水起流ポンプ制御盤の更新を行った。	田辺公園プール温度調節計及び温度警報計の設置を行った。
青少年関係団体の育成・支援	○各種団体の育成・支援 ・京田辺市子ども会 ・京田辺市青年団 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会 7月6日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の「生活環境調査」及び地域パトロール、12月10日 青少年生活環境ガイド・啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡連絡協議会10月26日親睦スポーツ大会実施	京田辺市青少年問題連絡協議会に補助金、7月キララフェスティバル会場周辺にてパトロール、8・9月 青少年の「生活環境調査」及び地域パトロール実施、10月「生活環境ガイド」の作成・啓発チラシの配布、2月「子育て講演会」の実施、市内9地域委員会との交流・情報交換等、 京田辺市PTA連絡協議会総会・役員会、10月親睦スポーツ大会実施等

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑤	創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
自然の中での体験学習の充実	○野外活動のつどい(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	野外活動の集い 450人	野外活動の集い 500人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		野外活動に親しむ日 150人	野外活動に親しむ日 250人
	○土曜わくわく体験教室(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		わくわく体験クラブ 延べ1,209人	わくわく体験クラブ 延べ1,047人
	○夕涼みのつどい(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		夕涼みのつどい 90人	夕涼みのつどい 120人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習(小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3～4回の体験活動の)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 約3473人(参加人数不明の事業あり)	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約3473人(参加人数不明の事業あり)
図書館事業の推進	○夏休み子どもフェスティバル(手づくり会、人形劇、映画会等)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	中央図書館 ヨーヨーつり 約393人 映画会 65人 北部分室 おはなし会・人形劇 104人 中部分室 手作り紙芝居・絵巻物語芝居 143人	中央図書館 ヨーヨーつり 336人 映画会 120人 北部分室 手づくり会 49人 中部分室 ミニシアター・人形劇・腹話術 96人
	○おはなし会(再掲1-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進		中央図書館 69回 1,124人 北部分室 61回 708人 中部分室 28回 257人	中央図書館 67回 1,109人 北部分室 59回 644人 中部分室 28回 198人
	○図書館活動の充実(再掲2-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進		視覚障害者向け郵送サービスの開始	図書資料の受入冊数 16,245冊 点字資料作成 36タイトル 子どもの本の講座 参加人数延べ84人 障害がある人へのサービス宅配80回 郵送サービス3回 対面朗読 47回 児童書・絵本の読み聞かせ推奨のための「絵本の紹介コーナー」の設置

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

国際交流の推進	○海外都市等との友好交流 (海外の子どもや留学生などとの交流)	市民参画	H22~26	・テュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生14名が新小学校訪問 / 秋期:留学生11名が田辺小学校訪問 ・ウイラル市との絵画交換、展示 本市の幼稚園(8園)・小学校(8校)・中学校(3校)の合計266名が参加、ウイラル市へ267点の作品を送付。ウイラル市の学校(15校)が参加、送付された202点の作品を、京田辺市コミュニティホールで展示。	・テュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生9名が田辺東小学校訪問 / 秋期:留学生8名が桃園小学校訪問 ・ウイラル市との絵画交換、展示 本市の幼稚園(8園)・小学校(8校)・中学校(3校)の合計232名が参加、ウイラル市へ284点の作品を送付。ウイラル市の学校(14校)が参加、送付された203点の作品を、京田辺市コミュニティホールで展示。
	○多文化交流の機会づくり・情報提供	市民参画		・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業	・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業
	○国際交流体験の支援(ホームステイ受入れや海外での交流体験などを支援する)	市民参画		・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受入れなど) 24件 Bタイプ(海外留学など) 23件	・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受入れなど) 28件 Bタイプ(海外留学など) 28件

◎ 展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑥	子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
児童館事業の推進	○なかよしくラブ(各児童館:小・中・高校生対象)	子育て支援	H22~26	延べ利用者数 15,082人	延べ利用者数 9409人
豊かな人間性を育む教育の推進	○適応指導教室(ポットラック)の充実(再掲2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育	H22~26	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数339人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数203日、通室延人数432人
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進(再掲3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	新規2地域開設。42区・自治会のうち14箇所継続実施。	新規2地域開設。42区・自治会のうち15箇所継続実施。
★ 14 放課後子どもプランの充実(☆)	○放課後子どもプラン(☆)(再掲1-(3)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	年間実施日数 83日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,687人	年間実施日数105日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数4,528人

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑦	子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
★4 ☆19 各種手当の支給による支援(★)	○高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う (生活保護・ひとり親・市民税非課税世帯)	子育て支援 社会福祉	H22～26	申請者35名	申請者32名
	○子ども手当(★)	子育て支援		公立以外的高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。	公立以外的高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。
	○児童手当	子育て支援		平成24年4月分から児童手当に変更	平成24年4月分から児童手当に変更
	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(2)-③)	子育て支援		支給児童 延べ117,002人 支給総額 1,239,045,000円 児童数 9,649人 受給者数 5,927人	支給児童 延べ117,411人 支給総額 1,242,435,000円 児童数 9,686人 受給者数 5,952人
	○母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務) (再掲2-(2)-③)	子育て支援		支給実人員:429名(内 父子30名) 総支給額:197,966,570円	支給実人員:435名(内 父子34名) 総支給額:199,071,700円
	○交通遺児奨学金 (府制度:広報、申請書配布) (再掲2-(2)-③)	子育て支援		申請者515名	申請者545名
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)-③)	子育て支援		申請者2名	申請者2名
	○特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:市は進達事務) (再掲2-(2)-②)	子育て支援		支給実人員501名 総支給額13,278,600円	支給実人員482名 総支給額12,775,800円
	○市心身障害児童特別手当 (再掲2-(2)-②)	子育て支援		受給者数:123名	受給者数:137名
☆4 子育て支援医療費の助成(☆)	○子どもの医療費の助成(☆) (再掲1-(1)-⑤)	子育て支援	H22～26	入院:665件 27,512千円 入院外:108,913件 185,893千円	入院:572件 25,706千円 入院外:116,793件 207,334千円

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

* 不妊治療費助成	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22~26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ 205人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ 49	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ 202人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ 45人
	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)		H26	—	男性不妊治療:0名 不育症:0名
保育・教育費用の負担軽減	○保育所保育料の軽減 (生活保護・ひとり親世帯等)	子育て支援	H22~26	対象73人に保育料の減免	対象68人に保育料の減免
	○幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育		京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者405人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園22園に補助を実施した。実績40,360,800円。 市立幼稚園在園保護者延べ24人に対して527,800円の減免措置を実施した。	京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者500人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園26園に補助を実施した。実績65,273,300円。 市立幼稚園在園保護者延べ30人に対して1,169,800円の減免措置を実施した。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・就学援助費 ・特別支援教育就学奨励費 (再掲2-(2)-②)	学校教育		市立小学校児童525人及び中学校生徒441人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校3,675千円、中学校6,615千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,677千円、中学校1,970千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校711人 42,287千円、中学校380人 20,622千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校14人 472千円、中学校12人 439千円。	市立小学校児童600人及び中学校生徒440人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校4,193千円、中学校6,600千円。 小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,677千円、中学校1,970千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校665人 41,077千円、中学校387人 21,825千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校17人 543千円、中学校11人 249千円。
	○留守家庭児童会負担金の減免	社会教育・スポーツ推進		生活保護世帯の負担金を全額免除	生活保護世帯の負担金を全額免除

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	①	子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
人権意識の高揚	○人権問題研修会	人権啓発推進	H22～26	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
	○わくわくワークショップ	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
	○広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
	○ヒューマン映画上映会	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	○「児童福祉週間」の実施	子育て支援	H22～26	4月25日～5月24日に週間を設置し、各種事業に述べ1,699人参加	4月25日～5月24日に週間を設置し、各種事業に述べ2,338人参加
	○通常保育での充実(価値観の違いを認める意識の醸成)	子育て支援		障がいのある児童の受け入れ	障がいのある児童の受け入れ
人権教育の充実	○研修会 ・ハートフルフェスタ、幼児、小・中学生の作品展等 ・人権に係る学習会	社会教育・スポーツ推進	H22～26	人権教育研究会 8月20日 参加者300名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座) 8月23日 参加者61名 京田辺市ハートフルフェスタ 12月7日 参加者70人 人権に係る作品展 294点 子どもの人権に関する映画鑑賞 3月25日 参加者69名	市人権教育研究会 8月19日 参加者300名(保幼小中の教職員) 京田辺市ハートフルフェスタ 12月6日 講演会:参加者190名 人権に係る作品展 386点 「子育て講演会」への後援 講演会参加者:220名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	②	障がい児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
* 京田辺市障害福祉計画	○各種障がい福祉サービスの給付 ・訪問系サービス ・日中活動系サービス ・居住系サービス ・補装具費支給事業 ・日常生活用具給付事業	障害福祉	H22～26	居宅介護:利用者11名・利用時間 8422時間 行動援護:利用者9名・利用時間 2940時間 短期入所:利用者 62名・利用時間 4823時間 補装具:購入 29件・修理 16件 日常生活用具: 77件	居宅介護:利用者10名・利用時間 5911時間 行動援護:利用者6名・利用時間 2253時間 短期入所:利用者 28名・利用時間762時間 補装具:購入 27件・修理 28件 日常生活用具: 84件
	○地域生活支援事業 ・相談支援事業 ・移動支援事業 ・日中一時支援事業	障害福祉		相談支援事業(利用延べ件数12,237件。児童延べ利用人数 83人) 移動支援事業:利用者72名・利用時間12,039.5時間 日中一時支援事業:利用者53名(実人数)・利用時間6,329時間	相談支援事業(利用延べ件数11,664件。児童延べ利用人数 70人) 移動支援事業:利用者70名・利用時間9,474時間 日中一時支援事業:利用者54名(実人数)・利用時間6,427時間
	○子どもの聞こえ支援事業	障害福祉	H26	—	補聴器:購入2件、修理1件
自立支援医療給付事業の推進	○自立支援医療給付事業の推進(再掲1-(1)-⑤)	障害福祉	H22～26	自立支援医療(精神通院)受給者 39名	自立支援医療(精神通院)受給者 40名
各種手当等の支給による支援	○特別障害者手当	障害福祉	H22～26	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。49人(児童)に支給。	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。54人(児童)に支給。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・特別支援教育就学奨励費(再掲2-(1)-⑦)	学校教育		市立小学校児童525人及び中学校生徒441人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校3, 675千円、中学校6, 615千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4, 677千円、中学校1, 970千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校711人 42, 287千円、中学校380人 20, 622千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校14人 472千円、中学校12人 439千円。	・特別支援就学奨励費 小学校 17人 543千円、中学校 11人 249千円
	○特別児童扶養手当(再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		受給者数:123名	受給者数:137名
	○市心身障害児童特別手当(再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		支給実人員:154名 総支給額:4,550,400円	支給実人員:167名 総支給額:4,831,200円

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

発達相談指導員による発達相談	○発達相談指導員による発達相談(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子育て支援	H22～26	実132人(のべ168人)幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回	実142人(のべ167人)幼稚園1園
障がい児保育・教育等の推進	○障がい児保育の実施(保育所での保育に欠ける障がいのある児童の受入れ)	子育て支援	H22～26	35人	51人
	○障がいのある児童の訪問(再掲1-(1)-①)	子育て支援		24件(のべ31回)	2件(のべ3回)
	○児童デイサービス事業	子育て支援		年間116人が利用した(実人数)	年間169人が利用した(実人数)
	○サマースクール事業への支援	障害福祉		学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し支援等を行った。(H25.7～H25.8のうち10日実施。)	学校の夏休み期間を利用して行われる京田辺サマースクール実行委員会の事業に対し支援等を行った。(H26.7～H26.8のうち11日実施。)
	○就学指導委員会活動の充実	学校教育		保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。	保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。
	○特別支援教育の推進	学校教育		京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金額76千円	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金額129千円
学校施設のバリアフリー化	○学校施設のバリアフリー化(小・中学校への障がいのある児童の受け入れに当たり、施設のバリアフリー化を図る)	学校環境整備	H22～26	田辺中学校管理棟大規模改修工事及び耐震改修工事を行った(既設分)	-
留守家庭児童会の充実	○留守家庭児童会での障がいのある児童の受入れ	社会教育・スポーツ推進	H22～26	8児童会・16学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人数558人。障がいのある児童を含め希望者全員受入。夏休み期間受け入れ学年を5・6年生に拡大(大住・田辺東)	8児童会・22学級を開設、4月1日時点の入会児童数590人障がいのある児童全員を受入 入会児童の対象学年を小学校全学年に拡大

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	③	ひとり親家庭への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (再掲2-(1)-②)	社会福祉	H22~26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
母子家庭医療費助成事業	○母子家庭医療費助成事業 (再掲1-(1)-⑤)	国保医療	H22~26	平成25年度給付実績 12,963件 39,420千円 ※平成25年8月1日から、父子家庭も対象となりました。	平成26年度給付実績 14,564件 44,309千円
ひとり親家庭の日常生活支援	○母子自立支援員等によるひとり親家庭への相談支援	子育て支援	H22~26	自立支援員未設置	自立支援員未設置
	○母子家庭日常生活支援事業(府制度)	子育て支援		府制度周知	府制度周知
	○母子世帯府営住宅優先入居(府制度)	子育て支援		1世帯入居	1世帯入居
★ 19 各種手当の支給による支援(☆)	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(1)-⑦)	子育て支援	H22~26	支給実人員:429名(内 父子30名) 総支給額:197,966,570円	支給実人員:435名(内 父子34名) 総支給額:199,071,700円
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		支給実人員501名 総支給額13,278,600円	支給実人員:482名 総支給額:12,775,800円
	○母子家庭奨学金 (再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		申請者515名	申請者545名
	○交通遺児奨学金 (再掲2-(1)-⑦)	子育て支援		申請者2名	申請者2名
ひとり親家庭の交流促進	○ひとり親家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	子育て支援	H22~26	新入学児童を祝い励ます会に参加者8世帯。 ひとり親家庭新入学児童28名にランリュックを贈呈	新入学児童を祝い励ます会に参加者12世帯。 ひとり親家庭新入学児童28名にランリュックを贈呈
	○京田辺母子会活動の支援 ・母子家庭交流事業支援等	子育て支援		会員数 約90人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った。	会員数 約90人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った。
職業技能訓練給付事業	○高等技能訓練促進給付事業	子育て支援	H22~26	受給者8名	受給者8名
	○自立支援教育訓練給付事業	子育て支援		受給者1名	受給者1名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

ファミリー・サポート・センター事業	○ファミリー・サポート・センターにおける優先利用	子育て支援	H22～26	希望者は全員利用できている。	希望者は全員利用できている。
女性相談・男性相談	○女性の相談室 (再掲1-(3)-③、2-(3)-②)	市民参画	H22～26	・専門相談 毎月第1・3木曜日23回48件相談 ・出張相談 年5回、10件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 86件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 29件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回(10件相談)	・専門相談 毎月第1・3木曜日 23回、49件相談 ・出張相談 年5回、3件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 105件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日 12回、25件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回、12件相談
	○男性相談 (再掲1-(3)-③、2-(3)-②)	市民参画		なし	なし

◎ 展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	④	外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
世界に開かれたまちづくりの推進	○サポート体制の充実 (市内在住外国人等への情報提供等)	市民参画	H22～26	・京田辺市生活ガイドブック(英語版・韓国語版・中国語版)を作成し、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載	・京田辺市生活ガイドブック(英語版・韓国語版・中国語版)を、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載
	○外国語母子健康手帳の交付 (再掲1-(2)-②)	子育て支援		発行:英語3冊	発行:0冊

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	1	虐待防止のネットワークの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
要保護児童対策地域協議会の機能強化	○代表者会議の充実	子育て支援	H22～26	年間2回開催	年間2回開催
	○実務者会議の充実	子育て支援		実務者会議 5回	実務者会議 5回
	○個別ケース検討会議の充実(情報交換、支援内容の協議等)	子育て支援		個別ケース検討会議 のべ46回	個別ケース検討会議 のべ68回
虐待通告の対応体制の強化	○市民よりの通告の対応体制の強化	子育て支援	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2, 470枚 子どもSOSカードをリニューアル 学校入り口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4, 530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1, 200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入り口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時
	○関係機関よりの通告の対応体制の強化	子育て支援		家庭児童相談室専用メール開設 メール相談回数:12回(延べ18人)	家庭児童相談室専用メール開設 メール相談回数:22回(延べ5人)
他機関との連携による見守り体制強化	○他機関との連携による見守り体制の強化	子育て支援	H22～26	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議年5回)、ケース会議も随時開催する。 保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(要保護児童・要支援児童・特定妊婦)。	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議年5回)、ケース会議も随時開催する。 保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(要保護児童・要支援児童・特定妊婦)。
	○児童相談所への援助依頼・送致	子育て支援		児相関与ケース43人 援助依頼 17人 送致 1人 一時保護 6人 施設入所 2人	児相関与ケース46人 援助依頼 15人 送致 1人 一時保護 9人 施設入所 2人
	○警察との連携による緊急対応	子育て支援		警察からのケース連絡 1件	警察からのケース連絡 4件

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	②	相談事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
各種健診における相談	○3か月児健康診査 (再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22~26	年24回 対象児:580人 受診者:565人 受診率:97.4%	年24回 対象児:570人 受診者:566人 受診率:99.3%
	○1歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)-①)	子育て支援		年12回 対象児:659人 受診者:619人 受診率:93.9%	年12回 対象児:657人 受診者:604人 受診率:91.9%
	○3歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)-①)	子育て支援		年12回 対象児:654人 受診者:574人 受診率:87.8%	年12回 対象児:711人 受診者:619人 受診率:87.1%
各種発達相談における相談	○10か月児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援	H22~26	年12回 対象児:601 受診者:569 受診率:94.7%	年12回 対象児:573人 受診者:546人 受診率:95.3%
	○2歳児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援		年12回 対象児:681人 受診者:591人 受診率:86.8%	年12回 対象児:649人 受診者:557人 受診率:85.8%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援		年12回 乳幼児 1,024人 妊婦0人	年12回 乳幼児 1,053人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②、2-(2)-②)	子育て支援		実132人(のべ168人) 幼稚園1園 保育所2園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実142人(のべ167人) 幼稚園1園 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 110人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援		転入者342人中 315人回収(92.1%)	転入者304人中287人回収(94.4%)
家庭児童相談室での相談	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	子育て支援	H22~26	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 139件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 95件 保健・障がい・非行・育成等相談 28件 来庁面接相談回数:109回(延べ167人) 家庭訪問回数:107回(延べ169人) 電話相談回数:89回(延べ428人) メール相談回数:12回(延べ18人)	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 154件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 107件 保健・障がい・非行・育成等相談 40件 来庁面接相談回数:183回(延べ290人) 家庭訪問回数:117回(延べ285人) 電話相談回数:351回(延べ604人) メール相談回数:22回(延べ5人)
地域子育て支援センター等での相談	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援	H22~26	支援センター等での子育て相談 電話65 来所305 事業内実施時323	支援センター等での子育て相談 電話60 来所7 事業内実施時431
保育所における相談事業	○保育所における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	子育て支援	H22~26	年間860人から相談を受けた	年間793人から相談を受けた

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

児童館における相談事業	○児童館における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	子育て支援	H22～26	保護者からの相談件数 124件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	保護者からの相談件数 88件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
幼稚園での相談事業	○幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
学校における相談(☆)	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	学校教育	H22～26	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数98回(11回×8校+10回×1校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数101回(11回×7校+12回×2校)、相談件数431件 相談人数(内訳) 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆) (再掲2-(1)-③)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数98回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ90件、相談人数 延べ582人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数101回、相談件数431件 保護者267人、児童104人、教師147人、その他11人、計529人 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ102件、相談人数 延べ630人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-③、2-(1)-⑥)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数339人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数203日、通室延人数432人
民生児童委員・主任児童委員による相談	○民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	社会福祉	H22～26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
女性相談・男性相談	○女性の相談室 (再掲1-(3)-③、2-(2)-③)	市民参画	H22～26	・専門相談 毎月第1・3木曜日23回48件相談 ・出張相談 年5回、10件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 86件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 29件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回(10件相談)	・専門相談 毎月第1・3木曜日 23回、49件相談 ・出張相談 年5回、3件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 105件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日 12回、25件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 2回、12件相談
	○男性相談 (再掲1-(3)-③、2-(2)-③)	市民参画		なし	なし

☆
18

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	③	訪問事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
* 保健師等による訪問	○こんにちは赤ちゃん事業(再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22~26	対象児:565人 受診者:520人(里帰り含む) 受診率:92.0%	対象児:558人 受診者:526人(里帰り含む) 受診率:94.3%
	○耳の聞こえチェックリストの配布(再掲2-(3)-③)	子育て支援	H26	—	チェックリストからの相談:0件
	○養育支援訪問事業(再掲1-(1)-①)	子育て支援	H22~26	95件(実訪問件数)	85件(実訪問件数)
	○幼稚園、保育所への訪問	子育て支援		年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立保育所にて実施121人、巡回支援14回、その他適宜保健師が巡回している。 健診後経観察のために、民間保育園6回、公立幼稚園10回、私立幼稚園3回、市外幼稚園3回訪問している。	年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立保育所にて実施110人、巡回支援14回、その他適宜保健師が巡回している。 健診後経観察のために、民間保育園6回、公立幼稚園11回、私立幼稚園2回、市外幼稚園3回訪問している。
家庭相談員による訪問	○妊婦への訪問	子育て支援	H22~26	4人3世帯(うち特定妊婦2世帯)	8人3世帯(うち特定妊婦3世帯)
	○要保護児童家庭への訪問	子育て支援		要保護児童家庭等への家庭訪問回数:107回(延べ169人)	要保護児童家庭等への家庭訪問回数:117回(延べ285人)
	○施設退所後のフォロー訪問	子育て支援		1件	0件
☆ 20 ヘルパーによる訪問(☆)	○ヘルパーによる訪問(☆) ・家事援助訪問 ・育児援助訪問	子育て支援	H22~26	産後ホームヘルパー派遣 5人(のべ 111人)	実人数 8人 のべ派遣時間 121.5時間

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	④	意識啓発の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
市民に対する 広報・啓発 (☆)	○ホームページの充実 (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	子育て支援	H22～26	子どもの権利条約について掲載	子どもの権利条約について掲載
	○パンフレットの配布(☆) (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	子育て支援		「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2, 470枚 子どもSOSカードをリニューアル 学校入口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4, 530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1, 200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなべシリーズ連載(8・10・11・12月号)	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなべ子どもの虐待防止月間の取り組みについて掲載
子育て関係者等に対する啓発	○子育て関係者に対するパンフレット等の配布 (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	子育て支援	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 庁舎2, 470枚 子どもSOSカードをリニューアル 学校入口に設置 600枚、小学3年生～中学3年生に配布 4, 530枚、子どもにかかわる関係機関に設置1, 200枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭・歯のひろば・民生児童委員活動にて配布 子育て相談案内カードデザイン募集、作成、配布(随時)設置(71か所) SOSカード学校入口に設置、小学3年生に配布 745枚、随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時

☆
5

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(2-3-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	⑤	虐待防止のための体制整備

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
研修の充実	○研修の充実 ・講演会の開催 ・専門的研修の実施	子育て支援	H22~26	ペアレンティングトレーニング(夫婦) 1回シリーズ実施 42名 商工会青年部・女性部対象に研修会 2回 22名 小学校教育相談部 1回 18名 民間保育所人権研修会 1回 48名 公立保育所家庭支援担当保育士研修会 1回 5名 民生児童委員研修会 1回 23名	小学校教育相談部 1回 13名 公立保育所家庭支援担当保育士研修会 1回 5名 民生児童委員研修会 2回 98名
★3 子育て短期支援事業(★)	○ショートステイ事業(★) (再掲1-(3)-①)	子育て支援	H22~26	平成25年4月からの実施 委託先(児童養護施設および乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」)に委託契約 利用日数:19日	委託先(児童養護施設および乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」)に委託契約 利用日数:7日
集団生活における支援	○集団生活における支援 ・学校との連携及び支援 ・幼稚園との連携及び支援 ・保育所との連携及び支援	子育て支援	H22~26	保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(64回)	保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(64回)